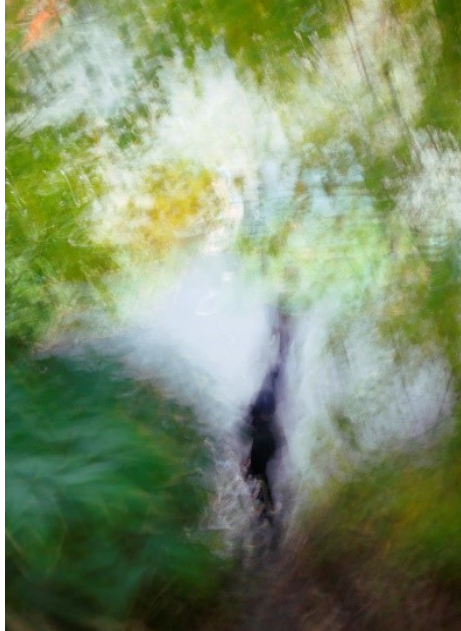




PROFILE 山岸靖司 Yamagishi Seiji

- 1994 「52 の愛の形」ギャラリーR-Box、札幌
1996 個展「闇より」ギャラリーユリイカ、札幌
1999 個展「写真画展 流転ーツギニムカフトコロー」ギャラリーR-Box、札幌
2000 「27 回北海道抽象派作家協会展」札幌市民ギャラリー
2002 個展「かすかに たしかに」アルテピアッツア美唄
2006 個展「ツツクコト」ギャラリー門馬ANNEX、札幌
個展「あわいを覗く」茶廊法邑、札幌
2008 「光を編む」コンチネンタルギャラリー、札幌
2009 「遠くを聴く」コンチネンタルギャラリー、札幌
2010 「空想劇場其の一」茶廊法邑、札幌
2011 「かげ展」北広島市芸術文化ホール
「Living Art- 日常-」札幌芸術の森美術館
2013 「ハルカヤマ藝術要塞」小樽
2014 「防風林アート」帯広
「JR タワー・アートプラネット 2014」プラニスホール、札幌
個展「あわいを覗く」黒い森美術館、北広島
2016 「ヒト科ヒト属ヒト」帯広の森
2017 個展「量子近景」コンチネンタルギャラリー、札幌
2018 個展「Yamagishi Seiji +ILA Gallery」ILA Gallery、札幌
2019 「Nameless landscape」札幌文化芸術交流センターSCARTS
2024 個展「世界と私のおいかけっこ、私はあなた、あなたは私かもしれない」ギャラリー門馬、札幌
2025 個展「東川風色」せんとびゅあ、東川



山岸靖司 アーティスト・トーク

作品のテーマ・技法について山岸自らが語ります。

日時：12月27日（土）14：00～15：00

会場：市立小樽美術館 1階多目的ギャラリー内

お申込み：美術館 TEL 0134-34-0035

展覧会・イベントの詳細はQRコードでご確認ください。



小樽美術館協力会ホームページ

山岸靖司は、1961年深川に生まれ、10代の頃から写真を始め、長く現像所で焼きプリントの業務を行い、1989年にフォトグラファーとして独立しました。

1998年に初個展を開催して以来、道内各地で多数の個展を開催し続け、2024年その集大成ともいえる「世界と私のおいかけっこ、私はあなた、あなたは私かもしれない」（札幌ギャラリー門馬）、続いて写真の町宣言の東川町で「東川風色」（せんとびゅあ）を開催しました。

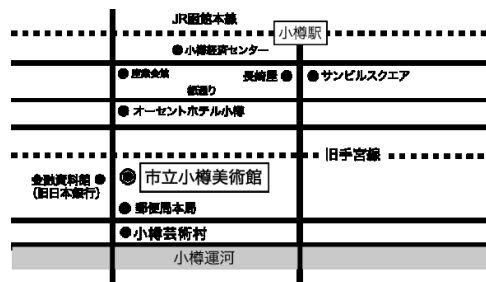
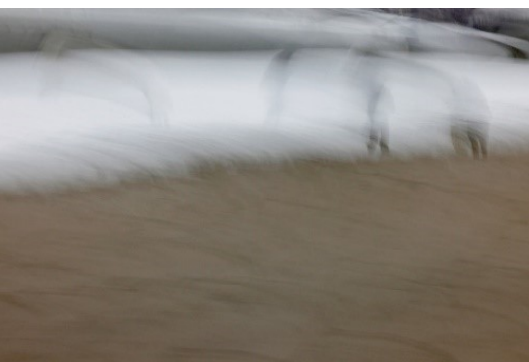
山岸は「意識、物質や色や音、すべては周波数であり、エネルギーを持っている」という考えのもと、人の感覚や認識ではとらえきれない、それらの成り立ちや関係性を探りながら、写真などを用いた制作を続けています。

山岸は「写真も美術家にとっての絵具や描画材料と同じである」という考えを抱き、モノクロの印画紙に直接感光したり、現像液をそのまま撒き散らしたりするような実験的行為を行ってきました。

さらに、デジタルに移行してからは、カメラのファインダーを覗かずに、ランダムにシャッターを押し、撮影した写真を組み合わせたインスタレーションに新境地を開きました。

また、山岸は多くの現代美術家たちの展覧会場の空間構成を担い、展示技術並びに造作に信頼を獲得してきました。現代美術家たちとの交流や数々の会場設営の経験から、山岸は、「ハルカヤマ藝術要塞」展にも出品し、小樽の写真家・アーティストらとの交流も生まれ、小樽市長橋の民家を入手し、現在自身のスタジオ・ギャラリーづくりを始めています。

本展は、めざましい活躍を続ける北海道を代表するフォトグラファー山岸靖司の、小樽での拠点づくりを記念して、これまで見たこともない、その独自の写真表現を展覧するものです。



市立小樽美術館

〒047-0031 小樽市内1丁目9番5号 tel 0134-34-0035